



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信

平成26年4月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.136

高千穂郷・椎葉山世界農業遺産推進協議会



3月27日、「世界農業遺産」の認定を目指すため、「高千穂郷・椎葉山世界農業遺産推進協議会」(会長高千穂町長)が発足しました。

世界農業遺産は、今なお現存する伝統的な農業技術・文化や多様な生態系、その土地特有の農産物等世界的に重要な地域を保全するため、国連食糧農業機関(FAO)が認定を行うものです。

現在認定されているのは、全世界で25地域、そのうち国内には5つあり、九州では熊本県阿蘇や大分県国東半島・宇佐が認定を受けています。

西臼杵3町と諸塚村、椎葉村を一つの地域として、特徴をPRするための方針やスケジュールの確認等について話し合いが行われ、申請に向けての第一歩を踏み出しました。

「福祉作業所日融工房」開所式

4月9日、「福祉作業所^{にちゆう}日融工房」の開所式が行われました。

福祉作業所日融工房は、平成10年から小規模作業所として障がいのある方の支援を行っていましたが、平成17年からは休業していました。その後、地域の再開を求める声に応え、平成26年4月1日から、五ヶ瀬町にある旧上組保育所を利用し、五ヶ瀬町で初めて、障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業所として指定を受けられました。

福祉作業所日融工房では、障がいのある方が通所して、野菜の生産販売や、機織りや編み物等の製品の作成販売等、様々な生産活動の機会の提供等を行うことで、日常生活又は社会生活での自立に向けた必要な訓練を実施しています。

開所式では、施設の利用者や、職員、地域の方々が出席され、事業が再開された喜びを皆様で分かち合っておられました。今後は、障がいのある方の自立した生活に向けた支援が、より充実されることが期待されます。



開所式の様子

みやざきサクラマス試食会

3月25日、五ヶ瀬町のフォレストピア森林交流館で、みやざきサクラマスの試食会がありました。

みやざきサクラマスは、やまめの里漁業生産組合（秋本 治代表理事組合長）が、平成24年に五ヶ瀬町鞍岡で淡水飼育したヤマメを延岡市浦城湾で海水養殖し、3～4倍ほどの大きさに成長したことがきっかけとなりブランド化されたものです。

試食会には、刺身や桜の木が使われた燻製、バター焼きが並びました。「くさみが少ない」「川魚特有のクセがない」などの声が聞かれました。

みやざきサクラマスが、全国区のブランド魚となる日が待ち遠しいです。



秋本 代表理事組合長



刺身



燻製



バター焼き

「六次産業化・地産地消費」に基づく事業計画の認定について

「六次産業化・地産地消費」に基づく事業計画認定は、農林漁業者の経営改善を図るために、生産者が自らの生産物を利用して加工・販売するための新商品開発計画（総合化事業計画）に対し農林水産省が認定を行う制度です。

25年度3回目となる今回の認定は、県内で11件、うち県北地域で1件の認定があり、日之影町の甲斐正重さんが西臼杵管内で2件目の認定を受け、農林水産省延岡地域センターで認定証の交付式が行われました。甲斐さんは、今後「ゆず」、「かぼす」の果皮を利用した新製品の菓子を製造し、販売を行う予定です。



交付式の様子

日之影町立小中学校卒業生植樹

3月10日、日之影町癒しの森運動公園において「日之影町立小中学校卒業生植樹」が開催されました。

今年卒業を迎える日之影町内の小学生32名と中学生40名が参加し、ヤマザクラとイロハモミジの計250本を植樹しました。

この取組は、子供達に森づくりや環境問題への意識を高めてもらうために行われたもので、今後毎年開催することも検討されています。

今回の植樹が参加者みんなの大切な思い出となり、植樹した苗木と一緒に大きく元気に育ってほしいと願った一日でした。

なお、ヤマザクラ等の苗木は、県民のみなさんからいただいている「森林環境税」を使って提供されたものです。



植樹の様子



集合写真

高千穂峡観光安全祈願祭

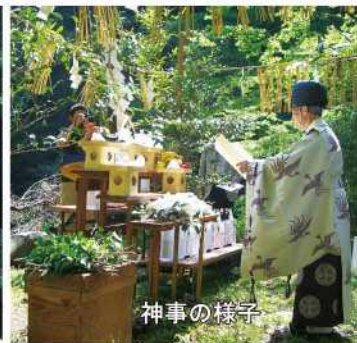
4月23日、高千穂町観光協会の主催で、高千穂峡観光安全祈願祭が行われました。神事が行われ

たあと、佐藤観光協会会長と興梠高千穂町副町長が高千穂峡に献酒を行い、観光客の皆さんの安全を祈願しました。

高千穂峡は、県内で一番の観光客数を誇っており、高千穂峡を訪れるみなさんが事故やけがなく楽しい思い出ができるよう、関係者一同が気を引き締め直しました。



献酒の様子



神事の様子

鳥獣被害対策モデル集落（五ヶ瀬町）での研修会

4月14日、昨年度からモデル集落となっている五ヶ瀬町桑野内上赤地区で鳥獣被害対策研修会を開催しました。当地区では、昨年3月から家庭用電源が利用できる電気柵器を用いて、地区の田畑を共同で囲い、共同管理することで獣の侵入防止効果を上げています。

今回は、地区に入作するメンバーも含め、平成25年度の被害状況、獣の潜み場所、対策実施か所を地図へ書き込みました。耕作者みんなで書き込むことで、被害状況が共有でき、対策がとりやすくなります。今後は、地図（被害マップ）で確認した内容を

もとに、電気柵の外側を刈り払うことで緩衝帯を設けたり、

田畑の近くの獣の潜み場所の除去を行う予定です。



被害や対策を地図に書き込み



地図を使って今後の対策を検討

五ヶ瀬町しいたけ教室

しいたけの駒打ちから将来の収穫までを体験し、地域の代表的な産物への関心を深めてもらうことを目的に、3月4日、五ヶ瀬町の三ヶ所中学校において「しいたけ教室」が開催されました。

「しいたけ教室」は、五ヶ瀬町のG授業プランの一環で、五ヶ瀬町内の4つの小学校から卒業生43名が参加しました。



駒打ちの様子

卒業生の皆さんは、ほだ木の穴あけから、駒打ち、伏せ込みまで、指導林家の方たちの助けを受けながら一生懸命に取り組みました。



一生懸命取り組みました！

伏せ込んだ原木は、今年4月に中学校へ入学した後、自分達で管理することになっており、順調にいけば今年の秋には収穫できる予定です。収穫したいたけは、乾しいたけにして中学2年の修学旅行時に県外で販売体験をする計画です。

神代川「かわまちづくり」計画認定式

3月26日、高千穂町が国土交通省へ申請していた「神代川かわまちづくり計画」が登録されました。今回の登録を受け、平成26年度から国の交付金事業として事業を進めていくことが可能となりました。

また、3月28日には、高千穂町役場町長室において「神代川かわまちづくり計画」登録通知文書の授与式を行いました。

今後は、県と高千穂町が緊密な連携のもと、地域の皆さんを中心として構成する「神代川かわまちづくり推進協議会（仮称）」により詳細な計画を検討しながら、まちづくりと一体となった河川空間の有効活用を図っていくこととしております。



通知文授与の様子

4月から西臼杵支庁に赴任してきました！ よろしくお願いします！

所属	氏名
支庁長	松岡弘高
次長(総括)	奥浩一
次長(土木技術担当)	上田秀一
総務課	早川俊一 高浦秀樹 椎俊憲 手嶋弥帆 山野内茉莉奈
福祉課	杉本拓郎 永峯まあや
農政水産課	矢野哲也 安田大祐 興梶貴子 梅北瑞紗 谷良二 渡部康弘 甲斐文聡
農業普及課	多田健二(課長) 佐藤博士 田代幸廣 山田千加子 迫田剛行 竹原剛史
林務課	河野淳二 竹本俊夫 椎葉淳 橋口紀代美 児玉好史 山本征男 那須研太
土木課	牟田恭二 飯干晶議 野尻陽介 若松なぎさ 矢括吉崇 杉元佳悟 原田浩幸

編集後記

高千穂郷通信を作り始めて早一年が経ちました。振り返ると高千穂郷の人や自然の豊かさに癒やされたり、扇風機の風量に悩まされたり、スノーボーをしたり車のチェーンを巻いたりなど色んな体験をしました。さて、今年は、私の前に高千穂郷通信を作成していた真リーダーにカーテンを頂いたので、冬の寒さも緩和され、更に充実した西臼杵生活となることでしょう。真リーダー、ありがとうございました！（猿）

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先
宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181
FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html